

# 平成30年度事業報告

## 1 概況

### (1) シルバー人材センターを取り巻く環境

我が国の65歳以上の人口は3,558万人余（平成30年10月1日時点）で、総人口に占める割合は28.1%と過去最高の数値になっています。

一方、雇用情勢を見ると、景況感と企業収益が改善されたことを契機に我が国の雇用を取り巻く環境は好転しており、平成31年3月の失業率は2.5%となっています。他方、有効求人倍率は1.63倍と、前年に引き続き高水準を維持しております。雇用情勢の好転は、高齢者の就業にも大きく影響することになります。具体的には、65歳以上の就業者数が年々増加しており、平成29年には821万人、労働力人口総数に占める65歳以上の者の割合は12.2%と上昇し続けている傾向にあります。

経済・雇用環境の好転は、高齢者の社会参加や生きがい就労を支えるシルバー人材センターにとっては、追い風が吹いている状況にあるといえます。しかし、近年、企業等が65歳までの定年延長制度を採用した事に加えて、労働局における適正就業指導が厳しくなってきました。これらのことから、請負契約に馴染まない受注については是正することが求められ、結果として、契約金額の実績が伸び悩んでいます。この問題を解決するため、シルバー人材センターにおける新たな働き方である労働者派遣事業を導入するなどし、多様化する高齢者の就業ニーズや発注者のニーズに応える取り組みをすることが求められています。

こうした状況にある中、板橋区シルバー人材センターにおいても、公益社団法人移行後、地域に根ざした自主的・効果的事業運営が求められており、様々な工夫を凝らしながらセンターの運営をしています。

平成30年度の契約件数は15,764件で前年度から2.1%減となり、契約金額は14億5千9百万円余で、前年度との比較では1.0%減となりました。これは昨年度と同様に、公共と個人の契約金額が減少したことに加え、企業等の受注における就業の適正化を図った結果です。行政改革や適正就業の指導の厳格化等時代の流れを鑑みると、今後も実績の減少傾向が続くと予想されます。そのため、当センターにおいても平成30年4月よりシルバー人材センター等労働者派遣事業所を開設し、就業者ならびに発注者のニーズに応える取り組みを始めました。今後も、新規会員獲得や事業PRのための広報活動に力を入

れ、就業機会の拡大に努めてまいります。

また平成30年度においても、財務基盤の確立に向け、収入・支出の見直しを図り、あらゆる事務所経費等の節約に努め、支出の抑制に取り組みました。しかし、事業実績の伸び悩みによる事務費収入の減少や、センター創立40周年記念式典開催ならびに記念誌刊行の費用等により当期の一般正味財産増減額は410万円余の減少となりました。なお、創立40周年記念事業に寄付をいただいていた指定正味財産100万円を取崩して充当した結果、正味財産増減額は510万円余の減少となりました。

## (2) 安全就業の状況

平成30年度の東京都内全シルバー人材センター統計においては、傷害事故は590件で前年より9件増加しております。また、このうち4件は死亡に繋がる重篤事故でした。一方、賠償責任事故は202件と件数は前年より7件増加しておりました。

当センターにおいても、安全就業巡回指導や業種別研修会などの安全就業対策についての取組みを積極的に行い、平成30年度の傷害事故発生件数は、24件で昨年と比較すると同じ件数となりました。また、賠償事故については、昨年より4件減の6件でした。

シルバー人材センターにおいて安全就業対策は、何よりも優先されます。そのため、今後も事故に対して歯止めをかける取組みを行っていくことが、シルバー人材センターの使命となってきました。

そこで、平成31年度においては、事故低減の取組み並びに健康づくりの動機付けとして会員の身体機能測定会等を行うなど、事故防止対策と安全就業に対する意識の向上及び注意喚起を行い、事故の減少に努めていきます。

## 2 会員の状況

### 会員の増減と就業率

平成31年3月31日現在、会員数2,922人、平均年齢は73.5歳、最高齢は96歳です。60歳以上の板橋区民に対する会員の割合は1.8%となっています。

30年度就業実人員2,399人(前年比8人減)、会員数に対する就業率は82.1%(同0.6ポイント減)、就業者平均年齢74.4歳、就業者最高齢は96歳です。入会者は昨年より19人の増となり、会員数は昨年度比12人増となっています。会員数の増については、積極的なPR活動により入会者数が増加した事に加え、退会者数の減少が要因と考えられます。

退会者337人の退会理由については、病気85人、会費未納76人、他での就職37人、転居17人、死亡26人、その他加齢等96人となっています。

### 会員の状況

平成31年3月31日現在

区 分	男性 〔人〕	女性 〔人〕	合 計 〔人〕	参考 板橋 区民	就業実人員内訳			
					就業 実人員 〔人〕	年 齢 階級別 就業率 〔%〕	合計に 対する 構成比 〔%〕	
年 齢 階 級 別 会 員 数	60歳～64歳	52 (50)	36 (40)	88 (90)	28,581 (28,548)	58 (51)	65.9 (56.7)	2.4 (2.1)
	65歳～69歳	389 (430)	241 (310)	630 (740)	32,463 (34,644)	446 (559)	70.8 (75.5)	18.6 (23.2)
	70歳～74歳	669 (700)	402 (376)	1,071 (1,076)	31,547 (30,570)	898 (907)	83.8 (84.3)	37.4 (37.7)
	75歳～79歳	603 (525)	269 (224)	872 (749)	26,783 (25,272)	759 (666)	87.0 (88.9)	31.6 (27.7)
	80歳以上	181 (165)	80 (90)	261 (255)	40,185 (39,342)	238 (224)	91.2 (87.8)	9.9 (9.3)
合 計	1,894 (1,870)	1,028 (1,040)	2,922 (2,910)	159,559 (158,376)	2,399 (2,407)	82.1 (82.7)	100 (100)	
平均年齢〔歳〕	73.8 (73.4)	73.0 (72.6)	73.5 (73.1)		74.4 (74.1)			
入 会 者〔人〕	232 (202)	117 (128)	349 (330)	入会説明会参加者 578 (547)				
退 会 者〔人〕	208 (221)	129 (140)	337 (361)					
※退会理由：病気85人 会費未納76人 就職37人 転居17人 死亡26人 その他加齢等96人								

※ ( ) 内は前年度実績

※〔参考〕板橋区民は平成31年4月1日住民基本台帳による。

### 3 組織運営の状況

#### (1) 総会・理事会の開催

- ①定時総会 文化会館 大ホール  
第8回 平成30年 6月25日 会員数2,965人  
(出席者654人 委任状1,113人 議決権行使486人)
- ②理事会の開催 13回  
(補正予算案他を審議)
- ③監査の実施  
平成30年 5月10日 公認会計士による監査  
平成30年 5月11日 監事による監査

#### (2) その他の機関・組織の活動状況

会員参画による事業運営を次のように行いました。

- ①安全管理委員会 3回
- ②広報委員会 広報誌「生きいき」の作成検討 5回
- ③地区リーダー会議 5回
- ④地区懇談会 延665人出席 (高島平A・B班は合同で開催) 19回
- ⑤有料自転車駐車場リーダー会議 4回
- ⑥いこいの家連絡会 6回
- ⑦その他グループ会議等 植木職、除草職、表具職、シニアエアロビクス

### 4 就業等の機会確保及び提供

#### (1) 事業収入状況等

事業収入は1,459,688,874円で前年に比べ、14,924,364円減となりました。

そのうち、公共の事業収入は、前年対比で202,003,737円・27.8%の減、企業等は、191,130,273円・32.7%の増、個人は、4,050,900円・2.5%の減となりました。

公民比率ですが、公共：民間（企業等＋個人）＝524,464,635円：(774,879,608円＋160,344,631円)＝35.9%：64.1%となっています。

なお、受託事業の就業開拓にあたっては、安全に就業できるものであれば、業種、規模を問わず、可能な限り受注しました。また、適正就業に関してはコンプライアンス重視の観点から契約の見直しを進め、雇用、人材派遣とみなされる恐れがあるものについては、シルバー人材センター労働者派遣事業として受注が可能かを探り、幅広い就業機会の確保及び提供に努めました。

平成30年度事業収入等の内訳

	公 共	企 業 等	個 人	合 計
事 業 収 入 (円)	524,464,635 (726,468,372)	774,879,608 (583,749,335)	160,344,631 (164,395,531)	1,459,688,874 (1,474,613,238)
配 分 金 収 入 (円)	491,603,011 (673,223,720)	717,115,616 (540,488,334)	129,078,083 (133,649,131)	1,337,796,710 (1,347,361,185)
材 料 費 等 収 入 (円)	2,460,546 (2,100,170)	366,235 (453,461)	13,780,156 (12,427,126)	16,606,937 (14,980,757)
事 務 費 収 入 (円)	30,401,078 (51,144,482)	57,397,757 (42,807,540)	17,486,392 (18,319,274)	105,285,227 (112,271,296)
契 約 件 数 (件)	1,882 (2,192)	6,172 (5,931)	7,710 (7,985)	15,764 (16,108)
延 日 人 員 (人)	89,209 (125,452)	184,513 (151,280)	32,389 (34,643)	306,111 (311,375)

※ 収入・件数には独自事業も含んでいます。※ ( ) 内は前年度実績

(2) 独自事業の状況

独自事業の実績については、次のとおりで、リサイクル自転車販売台数が前年度より8台増となり、また、オートライトやギア付き自転車の販売割合が増えたため、販売額は10.9%増となりました。

ソーイング事業は展示販売する機会が減少したため、事業収入が前年度に比べ21.9%減になりました。

パソコン教室は、コース数受講者数とも減少し、58.7%減となりました。

シニアエアロビクスについては、教室開催数・参加者数共に増加し、事業収入は2.6%増加しました。

木工クラブ事業については、地域イベント等で木のおもちゃを展示販売する機会が減少したため、事業収入が17.5%減少しました。

①自転車リサイクル事業

就業会員 3人 年4回販売 343台 2,337,500円  
(参考：29年度 年4回販売 335台 2,106,995円)

②ソーイング事業

就業会員17人  
小物作り、お直し、オーダー等点数 1,213点 3,530,934円  
(参考：29年度 1,650点 4,521,400円)

③パソコン教室事業

就業会員 1人 5コース5教室 受講者 5人 40,000円  
(参考：29年度 5コース8教室 受講者13人 96,752円)

- ④シニアエアロビクス教室事業（ゴム紐体操教室含む）  
 インストラクター就業会員17人 教室291回 延9,611人参加 2,043,841円  
 （参考：29年度 教室275回 延9,470人参加 1,991,593円）
- ⑤木工クラブ事業  
 就業会員13人 木のおもちゃを製作、販売 673,750円  
 （参考：29年度 816,226円）

（3）社会貢献・ボランティア活動状況

ボランティア活動の実績は、次のとおりです。

- ①「いたばし子ども見守り隊」 年間活動延人員 843人  
 ②「東京マラソン祭り」観客誘導・整理 参加実人員 6人

（4）日常生活支援総合事業

平成28年10月より、「赤塚いこいの家」2階を事務所として、「ケアルーム赤塚」を開設。同業務に係る専任のコーディネーター3名を配置し、事業PR、会員研修並びに就業支援を実施。

①事業活動報告（開拓・PR）

- ・区内おとしより相談センター（地域包括支援センター）を適宜訪問
- ・区内全事業所連絡会に出席し事業PR
- ・区内全包括支援センターに当事業に関するアンケートを実施

②就業会員向け研修（事業従事のための必須研修）

延2回実施 参加人員 17名

※研修受講会員には研修修了後 修了証を付与

（5）シルバー派遣事業

平成30年4月より、シルバー人材センター等労働者派遣事業所（シルバー派遣事業）の「板橋派遣事業所」として開設。平成31年1月、当事業所として初めての受注「不燃ごみのリサイクル作業」の契約を開始。

<事業実績>

受注件数 1件 就業会員 6人 延日人員279人日 契約金額1,440,660円

## 5 就業機会の適切なコーディネートと公平化

（1）就業相談の実施

会員の就業機会を的確かつ効率的に拡大するため、就業希望者登録説明・選考会を引き続き実施しました。

- ①事務局内において来所者に対する就業相談 常時  
 ②個別就業相談会 5回（5, 8, 10, 12, 2月） 相談者 延18人

③就業希望者登録説明・選考会

(有料自転車駐車場・学童擁護・施設管理・自転車放置防止業務)

延14回(5, 8, 10, 12, 2月) 参加者 延138人

(参考: 29年度 参加者 延171人)

④アクティブシニア合同面接会(会員以外も含む)

2回(10月5人, 3月5人) 参加者 10人

(2) 就業機会の公平化と長期就業を是正するための就業期間制限

①対象職種

地域センター 情報処理センター ものづくり研究開発連携センター  
男女平等推進センター 児童館 小学校来校者受付 いこいの家  
有料自転車駐車場 自転車保管所 自転車放置防止業務

②実施状況

定年 10人

職種グループ内就業期間満了 22人

同一就業場所就業期間満了(施設間異動) 27人

③その他 学童擁護(交通安全指導)については順次、複数体制に移行

## 6 会員の安全対策

前年度に引続き30年度においても、就業中や行き帰りの事故が発生しております。

このため、「会員安全手帳」配布や転倒予防に力を入れました。また、全会員に対し熱中症対策グッズを送付しました。

② 安全管理委員会 年3回

② 「会員安全手帳」配布 2,500部

③ 入会時に「安全10カ条」パンフレット配布

④ ミニ転倒予防教室 地区懇談会19地区 532人参加

⑤ 普通救命講習 1月 2回 45人参加

⑥ 広報誌「生きいき」に毎号「安全通信」を掲載 年5回

⑦ 安全就業用被服の貸与

⑧ 熱中症対策グッズ(冷感タオル、虫よけスプレー、塩タブレット)

⑨ 脚立を点検 新しく三脚15本、脚立5本、二連梯子10本を購入

⑩ 体力測定会 10月 延4回 74人参加

⑪ 安全管理委員・支援員の安全就業巡回(夏季・冬季) 21人 80カ所

## 7 会員に対する研修

会員の資質の向上を図るため、以下の研修を実施しました。

①入会説明会・接遇研修	4月～3月	349人参加		
②接遇研修	1月 5回	754人参加		
③植木剪定研修	1月～3月	延177人参加		
④植木剪定個別指導研修	4月～3月	延386人参加		
⑤第3ブロック役員研修				
「シルバー人材センターの将来展望について」	会場 豊島区	2月	8人参加	
⑥第3ブロック会員研修				
「就業における法令遵守」	会場 練馬区	3月	11人参加	
⑦第3ブロック安全就業実践研修				
「転倒防止」について	会場 板橋区	9月	11人参加	

## 8 広報・普及啓発活動

(1) センターのホームページによるPRの他、次のような広報活動を行いました。

- ①「広報いたばし」センター事業（エアロビクス教室他）参加者等募集記事 7回
- ②板橋区施設等にパンフレットを配布
- ③板橋区民まつり・農業まつり・赤塚梅まつり他、地域まつりへ参加（10, 11, 3月）  
延9回
- ④ハッピーロード大山商店街「ハッピースクエア」展示販売（6, 7, 8月）  
延6回
- ⑤町会、自治会の掲示板にPR記事を掲載（5, 9月） 2回
- ⑥町会連合会等関係団体会報や、板橋区が発行する情報誌、また区民まつり等のプログラムに広告掲載 延13回
- ⑦都営三田線車内広告の実施 通年
- ⑧広報誌「生きいき」の発行 5回  
ア 第184号 4月25日号 イ 第185号 7月25日号 ウ 第186号 9月25日号  
エ 第187号11月25日号 オ 第188号 1月25日号

(2) 情報公開

ホームページを活用し、公益社団法人として公開すべき情報の他、就業情報、活動情報等を公開しました。

## 9 調査研究

センターをご利用いただいている民間企業（継続）のお客様に対し、会員が行った仕事の完成度及び満足度についてアンケート調査を実施しました。

- ①目的 会員・職員の就業の質の更なる向上を図り、今後のシルバー事業を拡大させる基礎資料とするため。
- ②調査方法 平成31年3月1日から3月31日まで、郵送によるアンケート方式(無記名)。296件中179件の回答がありました。
- ③調査結果  
結果の詳細は広報誌「生きいき」190号(令和元年7月25日号)に掲載予定

## 10 その他の事業運営の状況

### (1) 主な保険の加入状況

事業運営上のリスクに備えて加入している保険は主に次のとおりです。

#### ①シルバー人材センター総合保険(継続加入)

ア 保険料 8,688,970円

(保険料内訳：傷害7,494,900円 賠償1,194,070円)

イ 保険適用(保険金支払いが確定した件数及び金額)

傷害事故	25件	5,595,500円	内27年度事故分	1件	980,500円
			内29年度事故分	7件	3,254,500円
賠償事故	8件	99,767円	内29年度事故分	2件	21,490円

#### ②役員賠償責任保険(継続加入)

ア 保険料 140,000円 填補限度額 5千万円

イ 30年度中の保険適用なし

#### ③個人情報取扱事業者保険(継続加入)

ア 保険料 148,030円 賠償限度額 1億円 諸経費費用限度額 3千万円

イ 30年度中の保険適用なし

## 11 その他

### (1) 事務局の状況

平成31年3月31日現在 事務局長1名 その他の常勤職員6名 一般業務職員3名  
その他の嘱託職員23名となっております。

平成30年4月に事務局長1名を採用しました。

### (2) 創立40周年記念事業

昭和53年10月に前身の高齢者事業団として設立され、平成30年度に創立40周年を迎えました。平成29年8月に「創立40周年記念事業準備委員会」を設置し、委員会の下に、総務部会、事業部会、記念誌部会を設け、平成30年11月21日に創立40周年記念式典を区立文化会館大ホールにて実施いたしました。

# 事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益社団法人板橋区シルバー人材センター 会長 中原 賢司